

一目でわかる！

令和7年度保存版

第一・第三中学校区 小中一貫教育



江別第一中教育目標
○自ら進んで学び未来を創造する生徒
○豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒
○強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

上江別小教育目標
いきいき のびのび
○かんがえる子
○やさしい子
○げんきな子
○なかよくする子

江別第一小教育目標
夢をいだき未来をひらく江別第一小の子ども
○思いやりをもち助け合う子
○すすんで学びよく考える子
○ねばり強くやりぬく子
○心もからだも

いずみ野小教育目標
○心豊かで思いやりのある子
○丈夫な体でやり抜く子
○自ら考え表現する子

北光小教育目標
○明るい態度でみんなと助け合う子ども
○強い意志で心と体を鍛え合う子ども
○自ら進んで考えを深め合う子ども

江別第三中教育目標
○意欲的に学習に向かい、粘り強く課題を追求する生徒
○自他を敬愛し、豊かな心をもつ生徒
○物事を正しく判断し責任ある行動がとれる生徒
○働く喜びを感じ心身ともに健康な生徒

「一目でわかる小中一貫教育 PDF 版」は、各校ホームページよりダウンロードできます

江別市の小中一貫教育の目的

小中連携教育のうち「目指す子ども像の共有」と9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指します

校区のめざす子ども像

夢へのチャレンジ 仲間とともに 未来をひらく子ども

9年間の教育活動において、子どもたちが将来を見据え自らの夢や目標の達成において果敢に挑み、他者とともに課題解決を図り、自らの手で変化の激しい社会を切り拓いていくことが重要であることから、上記のめざす子ども像を設定しました。

令和7年度の小中一貫教育

第一・第三中学校区

学習と生活のスタンダード

じゅんび

準備

あいさつ

あいさつ

つたあ

伝え合い

ことば

言葉づかい

かていがくしゅう

家庭学習

おも

思いやり

中学校体験

- 中1ギャップ解消のために小学校6年生が中学校で授業・生活体験を行います。
- 中学校の教員による体験授業を行います。



9年間を見通した系統的な教科指導

江別市で作成した教科系統表をもとに、小学校と中学校の教員がともに「これからどう学習していくのか」「これまでどう学習してきたのか」9年間の学習のつながりを意識し、以下のことを重点として指導をしていきます。

国語

- 書くことに重点を置いて指導します。
- 自分の考えをわかりやすく伝える力を系統的に指導していきます。
- 「書くこと」の指導においてICTを有効活用します。

算数・数学

- 四則計算（特に分数）に重点を置いて指導します。
- 自分の考えを論理的に表現する力（書く、話すなど）を高める指導をします。

社会

- 北方領土、国名、都道府県名と位置、海洋の名称を学年に応じて指導します。
- 北海道と各都府県の地理的・歴史的条件とそれによってもたらされる特色について系統性を意識して指導します。

理科

- 物理・化学分野では、物質の状態変化、光や音の性質を重点に指導します。
- 小学校と中学校での学習のつながりを意識して、重点的に指導します。

外国語・英語

- 自分のことを相手に伝えるコミュニケーション活動を重点に指導します。
- 発達段階に応じて、伝える内容を自分のことから社会的な事象へと広げるよう指導を工夫します。

音楽

- 9年間で表現することを楽しむ児童・生徒を育てていきます。
- 「歌唱」に重点を置いて指導します。
- リズム・音色など音楽を形づくっている要素を理解し、表現に生かせるよう指導します。

体育

- タブレットPCを活用した授業を進めていきます。
- 体力向上の取り組みを9年間続けていきます。
- 球技を中心に、基礎的な技能や知識の定着を意識した指導をします。

図工・美術

- 他学年の作品を鑑賞し合える環境づくりを進めていきます。
- 作品制作の基礎となる道具の使い方や表現活動を広げる指導を行います。

技術・家庭

- 生活に活かすことのできる基本的な知識や技能の定着を図ります。
- 情報活用能力を向上させる指導をしていきます。

養護・栄養・事務

- 9年間を見通して、自分の心と体に向き合えるよう支援していきます。
- 保護者負担軽減を目指します。

特別支援教育

- ふれあい合同レクを年に1回実施し、小中の交流を深めていきます。
- 小学校6年生は、本人や保護者の希望に応じて授業体験を行い、中学校生活に対する具体的なイメージをもって入学できるようサポートしていきます。
- 中学校卒業後の進路を見据えて、小中合同で進路指導における共通理解を図ります。

入学説明会

- 入学予定の小学校6年生と保護者を対象に入学説明会を行います。
- 中学校生活の一日の流れや生活のきまり、学習、部活動などについて中学校教員から説明し、イメージできるようにします。また、中学校生徒による説明も行い、不安や疑問の解消を図ります。



部活動体験

- 年1回、全ての部活動の見学・体験を実施し、部活動のイメージを膨らませることができるようになります。
- 保護者の方も一緒に来校し、見学することができます。

児童会・生徒会

- 小中の書記局の交流を目的として、合同の挨拶運動を年2回実施します。今後は、地域と合同の取組をめざします。
- 6校合同で活動できる取組をめざします。
- 学校紹介新聞を作成し、展示交流を実施します。



総合的な学習の時間・キャリア教育

- SDGsの観点を取り入れながら、外部講師の講演や職場体験などを通して、地域と連携した実践を積み重ねていきます。
- 自分自身の成長を振り返られるよう、キャリア・パスポートで記録を残していきます。

